



ニュージーランドとキューイ

私は小さいころ たという。

キューイフルーツを食 国鳥「キューイ」。鶏
 べたことはなかった。 ぐらいの大きさで、飛
 妻はキューイフルーツ べない鳥である。孫娘
 が好きで、半分に切っ が持ち帰ったキューイ
 てスプーンで食べる。 のぬいぐるみは、我々
 私もそうして食べるよ が食べるキューイフ
 うになったが、あくま ルーツよりひとまわり
 でも果物で「キューイ」 大きい(写真①)。
 がニュージーランドの オーストラリア人は
 国鳥であることを教え 自分たちのことを「オー
 てくれたのは孫娘であ ジー」と呼ぶが、ニュ
 る。孫娘はニュージー ランド人は「キュー
 ランドに語学留学し、 ギー」と呼ぶそうだ。
 ホームステイ先で知っ



よく知ら には明ら
 れているが、 キューイが見られるそ
 ニュージ いうだ。
 ランドの国 ニュージ
 鳥でもある 人々は自分たちのこと
 「キューイ」を親しみを込めて
 に似ている 「キューイ」と言っていた。
 という理由 現地のス
 からキュー ストランにも名前や
 イフルーツ 板にキューイの名前や
 は名付けら ラストが使われている。
 れている。 さらにイ
 キューイは にも国鳥の
 ニュージ ンされているほど身
 ランドの固 近な存在である。

「キューイ」という名前
 のついた「牛肉」がス
 パーで売られているとい
 うことには、特に私は
 驚いた(写真②)。

とにかく、ニュージー
 ランドの人たちがいか
 にキューイとともに暮
 らしているかを感じ
 る。今回は、孫娘から
 のキューイの話である。

留学に行く前に

ニュージーランド人は
 キューイフルーツを皮ご
 と食べると日本のテレ
 ビで聞いていた。あんな
 チクチクするものを食
 べるのかと疑問に思っ
 いたが、本当にホーム
 ステイ先の家族、大人
 も子どももみな皮ごと
 食べているのを見て大変
 驚いた。私もチャレンジ
 してみたが口がかゆく
 なったように感じると
 言い、ホストファミリー
 に笑われた。それで降
 私は丁寧に皮を除いて
 食べるようになった。

有種であり、そして絶
 滅危惧種でもあるた
 め、保護区で大切に育
 てられているそうだ。
 キューイは先住民の
 マオリ族が「キューイ」
 と鳴いていることで名
 付けた。鶏ぐらいの大
 きさであり、そして飛
 べない鳥である。特徴
 的な長いくちばしと二
 足で歩く姿は可愛らし
 さもうかがえる。

ホストファミリーに
 ある日、キューイを見
 に行こうと言われ、動
 物園に行つた。「ここ
 キューイバードがある
 よ」と言われ、小屋の
 中に入ると隣の人がい
 るのが分らないく
 らい真つ暗。だいぶ慣
 れてきたと思つたがや
 はり何も見えない。小
 屋の中では話すことも
 禁止のため、お化け屋
 敷のような空間をひた
 すら息を殺して転ばな
 いように歩いた。大阪
 市にある天王寺動物園
 てほしいと思つた。

「キューイハズバンド」
 と言うことがある。
 キューイの習性で一度つ
 がいになると一生愛す
 ることと、オスが卵を温
 めることから言われる
 ようになった。
 私のホストファミ
 リーでもそうだったが、
 ニュージ
 ランドでは
 男性も子育てに積極的
 に協力し、女性も活躍
 していることが多い。
 日本でもキューイの
 カップルのような生活
 を過ごせるようになって
 ほしいと思つた。